

生物・生態系研究開発の調査検討について

平成 15 年 12 月 19 日

(背景)

環境分野における生物学的・生態学的視点の重要性

生物多様性条約(1992年6月、リオ・デジャネイロ国連環境開発会議において採択)、新・生物多様性国家戦略(2002年3月、地球環境保全に関する関係閣僚会議決定)など、生物多様性保全の重要性

(目的)

生物を利用した環境保全等対策技術研究開発、生物多様性の保全、生態系管理に係わる研究開発等、環境分野における生物・生態系関連の研究開発の状況ならびに将来取り組むべき課題、取り組み等について調査検討を行う。

(ワーキンググループの設置)

環境研究開発推進プロジェクトチーム第2回会合(平成15年6月24日)において、「生物・生態系研究開発調査検討ワーキンググループ」の設置を決定(別紙1)。

(ワーキンググループ会合の経緯)

別紙3の通り。

(調査検討の状況)

報告書の目次案を作成しながら取りまとめの方針を検討中。(別紙4)
生物多様性研究開発のシナリオ案(別紙5)を検討中。

今後、生態系管理と生物利用の環境保全技術等について、研究の現状とニーズを調査し、我が国として重点化すべき研究開発事項を明らかにする予定。

(とりまとめに向けて)

平成15年度内を目途にとりまとめ、結果を環境PTに報告予定。

生物・生態系研究開発調査検討ワーキンググループの設置について

平成15年6月24日

環境研究開発推進プロジェクトチーム

1. 趣旨

環境研究開発推進プロジェクトチーム(以下、環境PT)では、政府全体としての環境研究の推進に資するため、関係各省で実施されている環境分野の研究開発の推進、省庁連携研究の実態等に関する状況について調査・検討を行っている。

環境研究開発の推進において生物学および生態学的視点が重要であり、また、1992年の地球サミットに際して「気候変動枠組条約」とともに「生物多様性条約」が採択され、我が国においても新・生物多様性国家戦略(平成14年3月27日、地球環境保全に関する関係閣僚会議決定)が定められたように、生物多様性の保全は環境分野において重要な課題である。そこで、環境PTにワーキンググループを設置し、環境分野における生物・生態系関連の研究開発の状況ならびに将来取り組むべき課題、取り組み方法等について調査・検討を行う。

2. 調査・検討の内容と進め方

環境分野においては、分野別推進戦略に基づき重点5課題(地球温暖化研究、ゴミゼロ型・資源循環型技術研究、自然共生型流域圏・都市再生技術研究、化学物質リスク総合管理技術研究、地球規模水循環変動研究)の研究開発を推進している。

本調査・検討においては、これら5課題との関連性に留意し、新・生物多様性国家戦略(平成14年3月27日、地球環境保全に関する関係閣僚会議決定)に示された施策の方向を踏まえ、主として

- (1) 生物を利用した環境保全等対策技術研究開発
- (2) 生物多様性の保全、生態系管理に係る研究開発

について、研究開発の状況ならびに将来取り組むべき課題、取り組み方法等について調査・検討を行う。

このためワーキンググループを設置し調査・検討を行い、平成15年度内を目途にとりまとめ結果を環境PTに報告する。

生物・生態系研究開発調査検討ワーキンググループ

構成員

平成 15 年 7 月 30 日

(専門委員)

日高敏隆 総合地球環境学研究所長

(メンバー)

岡 三徳 (独) 農業環境技術研究所生物環境安全部長
炭田精造 (財) バイオインダストリー協会常務理事
中静 (浅野) 透 総合地球環境学研究所教授
林 良博 東京大学農学生命科学研究科教授
藤田光一 国土技術政策総合研究所環境部河川環境室長
鷺谷いづみ 東京大学農学生命科学研究科教授
渡辺 信 (独) 国立環境研究所生物圏環境研究領域長

(敬称略)

印は主査

生物・生態系研究開発調査検討ワーキンググループ検討経過

平成 15 年 12 月 9 日現在

第 1 回会合

平成 15 年 7 月 30 日 (水) 13:00~ 15:00 経済産業省別館 11 階 1115 号会議室

【議事内容】

- (1) 総合科学技術会議における環境研究開発の推進について
- (2) 生物・生態系研究開発調査検討ワーキンググループについて
- (3) ワーキンググループの進め方について
- (4) 国内外の研究開発の状況について
- (5) 論点の整理について
- (6) その他

第 2 回会合

平成 15 年 9 月 16 日 (火) 10:00~ 12:00 中央合同庁舎 4 号館 4F 共用第 2 特別会議室

【議事内容】

- (1) 生物・生態系研究開発の現状について
- (2) 今後の取り組みについて
- (3) その他

第 3 回会合

平成 15 年 10 月 23 日 (木) 17:00~ 19:00 中央合同庁舎 4 号館 743 会議室

【議事内容】

- (1) 生物・生態系研究の検討範囲について
- (2) 生物多様性研究について
 - 生物多様性の研究戦略について
 - 研究現場における生物多様性について
- (3) 環境分野の重点課題と生物・生態系研究の関連性について
- (4) その他

第 4 回会合

平成 15 年 11 月 11 日 (火) 15:30~ 17:30 中央合同庁舎 4 号館 743 会議室

【議事内容】

- (1) 生物・生態系研究の検討範囲について
- (2) 環境分野の重点課題と生物・生態系研究の関連性について
- (3) 生物多様性研究戦略の考え方について
- (4) 今後の進め方について
- (5) その他

第 5 回会合

平成 15 年 12 月 9 日 (火) 15:30~ 17:30 中央合同庁舎 4 号館 743 会議室

【議事内容】

- (1) とりまとめの骨子案について
- (2) 生物多様性研究戦略図について
- (3) 環境と生物・生態系の関係について
- (4) 生物利用の環境技術研究について
- (5) その他

生物・生態系研究開発調査検討ワーキンググループ

報告書の目次案

序

- 1 . はじめに
 - 調査・検討の背景
 - 環境分野における生物・生態系
 - 国内外の研究開発の状況
 - 調査・検討の目的
- 2 . 環境分野における生物・生態系研究開発
 - 生態系管理
 - 生物多様性
 - 生物利用の環境保全等対策技術
- 3 . 我が国における研究開発の現状
 - 生物・生態系関連研究課題表
 - 取り組みの現状とニーズの分析
- 4 . 今後取り組むべき重要課題
- 5 . 関連する重要事項
 - 推進体制
 - 法的・制度的問題
 - 国際協力
 - 産学官連携、地域的連携
 - 予算、人材等の資源配分
 - その他

